

## 福井大学学術交流協定校への派遣留学（交換留学）月例報告書（11月）

留学先：The University of Findlay

氏名：岸本有実子

### 【思っていたより…】

フィンドレー大学での生活も4か月目に突入し、こちらにすることが当たり前のように感じる毎日です。うわさに聞いている冬の寒さにおびえながら生活していますが、意外にもまだ最高気温が10度以上の日が多く、過ごしやすい毎日が続いています。現地の学生によると今年は例年に比べて気温が高いそうです。私は冬の寒さが好きなのですが、季節に似合わず温かい気候に若干戸惑っています。ただやはり朝晩は気温がぐっと下がり、温度差のせいで日本人学生の間で風邪が流行りだしています。私も風邪をひかないよう、体調管理には気をつけたいです。

さて今月の報告書では、先月分でも触れたように私が参加しているボランティア活動と、アメリカならではの行事・イベントについて紹介します。また、そろそろ半期が終了するというので授業についても少し触れたいと思います。

### 【ボランティア活動を通して】

私が今学期参加した主なボランティア活動は、Habitat for Humanity、Genki Kids、そしてFundaySundayです。Habitat for Humanityは世界100か国で展開する、諸事情により住宅が確保できない方に住居を提供する支援団体です。フィンドレー大学ではクラブでこの活動に参加しており、私もそのクラブに何度か同行して住居の建築、清掃活動を行ないました。ホームオーナー家族の方々とお話することもでき、彼らの感謝の言葉と笑顔がとても印象的でした。また、クラブ活動を通してアメリカ人の友達もできました。私たちがフィンドレーに着いた頃にはほとんど住宅が完成しており、今期の活動には数回しか参加することができませんでしたが、世界中で活動している支援団体について知るよい機会となりました。Genki Kidsは、JOI（Japan Outreach Initiative）の派遣員としてフィンドレーに着任された担当の方と協力して、子どもたちに日本語や日本の遊びを教えるプログラムです。この活動は10月に始まり、4週間で合計8回の活動がありちょうど今週すべての活動が終了しました。子どもたちは日本にとっても興味を持っており、また日本語の歌や日本語を使ったゲームに一生懸命かつ楽しそうに参加していて、とてもやりがいがありました。また活動計画を練るうえで、これまで福井大学の課程で学んできた言語活動や授業方法などを試す良い機会でもあり、とてもよい経験になりました。FundaySundayは、フィンドレー大学内の施設、Mazza Museumで月に一度行われる地域の子どもたちを対象としたイベントです。これまで2度活動があり、来月、そして来年に入ってから活動が続きます。毎回テーマが決められており、私たちは日本ブースとして何かしら日本の文化を取り入れた出し物や体験コーナーを開設しています。内容を詰めたり飾り付けを作

ったりするためのミーティングに忙しいですが、とても充実しています。これらのボランティア活動を通して新しい人々との出会いを得られただけでなく、これまで学んできたことや経験を活かしたり協力して何かを成し遂げたりする体験をすることができ、参加して良かったと心から思っています。これらの他にも、小学校や老人ホームに出向いて折り紙、書道のワークショップをしたり、地域のボランティアに参加して貧しい人々に食料を提供する手伝いをしたりと単発のボランティアにもたくさん参加しました。

#### 【ハロウィンパレード】

10月後半はハロウィンムードが盛り上がり、どこへ行ってもハロウィン一色となりました。さすが本場のハロウィンとだけあり、寮や私が住む家にもハロウィンの飾り付けが施され、お祭りムードとなっていました。私たち日本人学生は10月27日に行なわれた地元のハロウィンパレードに参加させていただきました。当日は天候が悪くとても寒い思いをしましたが、パレードを見に来た子どもたちと楽しくふれあい、またお菓子を配ることができて楽しかったです。このように学校の外へ繰り出して地域の人々とくれ合う機会を大切に、これからもアメリカならではの行事や雰囲気を楽しめればと思います。

#### 【授業も終盤に…】

2015年の秋学期も残すところ3週間ほどとなりました。中間の試験・課題を乗り越えたと思った矢先、早くも期末の課題に追われています。特にスペイン語やドローイングは学習内容や課題内容が複雑になってきており、ぼんやりしてはられません。また、インタビューや調査プロジェクトなど日本でほとんど経験したことのない課題が科せられることもあり、毎回混乱しています。しかし周りの人々の協力もあり、なんとか乗り越えています。期末もこの調子で頑張っていきたいと思います。

このように大変ながら充実した生活を送る中で、最近アクシデントがありました。日本から持ってきた携帯電話を壊してしまったのです。とにかくパニックにならないように努め、詳しい友人にどう対処すべきか尋ねたり近くの量販店を訪れたりして対処方法を探りました（結局代替の端末を購入し、個人設定をし直すことになりました）。今回は特に深刻な事態には陥りませんでした。異国の地で不測の事態が起こった時にはとにかく落ち着いて対処方法を探り、一人で解決しようとしなくていいことが大切だと学びました。

前述のとおり、間もなく期末を迎えます。これから寒くなり、ますます活動しにくい気候になりますが、課題もこなしつつこれまで以上に活動的になれるよう努めたいと思います。次ページにいくつか写真を載せます。それでは、また来月の報告書で。



←第 1 回の **FundaySunday** の様子です。テーマは”Dots”でした。ドットにちなみ、水風船釣りを体験コーナーとして開設しました。また、日本の夏祭りについても簡単に紹介しました。

→地域と連携したボランティアでの様子です。**Mobile Food Pantry** というイベントで、地域の貧しい方々に無料で食料を提供するものです。あいにくの天気でしたが、他の学生ボランティアと協力して楽しく活動できました。また、活動後のカンファレンスでは、アメリカの地域問題についても学んだり意見したりする機会がありました。



←**Habitat for Humanity** の活動に参加した際の写真です。この日、私は外壁を担当しました。後日この住居の清掃作業をした際には、窓、室内の壁のクリーニングを担当しました。

→**Genki Kids** のクラスでの様子です。全体を通して挨拶のしかた、数、体のパーツ、色を教えました。写真は体のパーツと色を使ったかるたのようなゲームをしているところです。今年は例年に比べて子どもたちの数が極端に少なかったですが、彼らの楽しそうに活動に参加する様子を見てとても元気づけられました。また、彼らが日本語を楽しく学び、日本に興味を持ってくれるきっかけを作ることができました。

